

「月寒川にぎわい川まつり」

「川で遊ぶ機会を子どもたちに」

子どもたちに身近な自然に接する機会と親子のふれあいの場を提供し自然環境について考えるきっかけをつくらうと、当会などで構成する実行委員会が毎年夏に開催している「月寒川にぎわい川まつり」は、今回で31回目を迎えます。今年は7月25日（土）に例年同様、白石区土木センターと隣接の月寒川にて開催されました。



好天の中、約600人の親子連れが来場し、子どもたちは「月寒川探検隊」として元気に川を探検したり、川遊び、すいか割りなどに挑戦をしました。

「白石区子どもワンダーランド」

「仲良く楽しく国際交流」

事業委員会では、「第22回白石区子どもワンダーランド」を11月14日（土）にJICA北海道にて開催予定です。

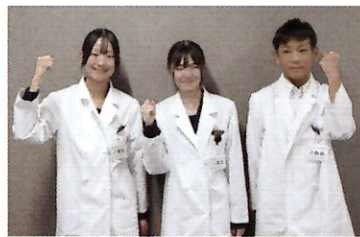
札幌市に滞在する海外からの留学生やJICA札幌の研修員などの外国の人たちと、小学生がゲームや食事を通して楽しく交流します。



「白石区小中学生のインターンシップ」

「地域の子どもの地域が育てる」

当会は、「次代の白石を担う子どもたちに働くことの楽しさやふるさと白石の良さを知ってほしい」という思いから、平成13年度に就労体験事業「白石区小中学生のインターンシップ（旧事業名：白石でつち奉公）」を始めました。この事業は、区内小中学生を対象に、学校と各事業所と当会が連携して実施しているもので、子どもたちに就労体験を通じて、働くことの大切さや楽しさを学んでもらうものです。



昨年の様子（（公財）北海道労働保険管理協会健診センターHOROKA）

当初、小学校の2校70人でスタートしたこの事業は、会員の皆さまをはじめ、地域全体のご支援をいただき、今年度は区内中学校8校の約1300人の児童・生徒が参加する予定となっております。

白石区中学生の主張発表会

「今年は10月10日（土）に開催」

この発表会は、中学生に自ら考え発表する力を養ってもらおうと、昭和45年に始まった歴史ある事業で、57回目となる今年は10月10日（土）に白石区民センターで開催されます。

昨年の来場者からは、「中学生という年齢とは思えない見応えある大会でした。」「聞いている側も元気をもらうことができました。」「といった声が寄せられました。今年も中学生の熱意のこもった発表が期待されます。

今年の大会も例年のように、白石区内の中学生のみならず、友好都市である宮城県白石市及び登別市からも中学生を招待し、発表していただく予定です。

また、昨年は3年生の部最優秀賞の柴田なみさん（北都中学校）と優秀賞の佐藤美憂さん（北白石中学校）を白石市に派遣し、白石市立東中学校での発表やその後の交流など、白石区と白石市の友好をさらに深めてきました。

今年も大会受賞者2名を白石市に派遣する予定であるほか、昨年の2年生の部の受賞者2名を、登別市少年の主張大会へ派遣しました。



今年も大会受賞者2名を白石市に派遣する予定であるほか、昨年の2年生の部の受賞者2名を、登別市少年の主張大会へ派遣しました。